

平成29年度 第3回摂津市民図書館等協議会 要点録

日時:平成 29 年 11 月 28 日(火)

10 時 00 分～11 時 30 分

場所:摂津市民図書館 3 階 大会議室

出席委員: 9 名

欠席委員: 1 名

事務局: 4 名

案件: 1. 平成 29 年度第 1、第 2 四半期モニタリング評価結果について

2. 平成 29 年度摂津市民図書館・摂津市鳥飼図書センター利用者満足度調査結果報告

3. その他

1. モニタリング評価結果報告(平成 29 年度第 1 四半期および第 2 四半期)について

(事務局) モニタリング評価結果(平成 29 年度第 1 四半期および第 2 四半期)について説明。

(事務局) 平成 29 年度第 1 四半期のご質問

○「学校図書館との、より密接な連携が図られることを期待したいです。」という内容について

⇒学校図書館とは、団体貸出や読書サポーター等で連携を取らせていただいているが、今後も密に連携を取ることができるよう、図書館に求められていることについて情報を集めていきたい。

○「別府コミュニティセンターにも予約本の受け取り、借りた本の返却ができるようにしてほしい。出張おはなし会もしてほしい。」という内容について

⇒コミュニティセンター自体の運営が今年度からということもあり、運営状況の把握ができていない。今年度の運営状況や地域のニーズを踏まえ、需要の検討をしていきたい。

○「『摂津市民図書館』で検索すると、摂津市のサイトが優先的に表示されます。OPAC のサイトのほうが案内などの詳細がわかるのに、一般的に見られているのは市のサイトなのではないかと感じました。市のサイトから OPAC につながる様にするのは難しいでしょうか。

また、七曜制カレンダーにその月の催し(イベント・休館日・おはなし会など)が全てが案内される様な表示方法がわかりやすいように思います。」という内容について

⇒検索に関しては今後検討していきたい。まずはWEB OPACについて、内容の充実や行事予定の見やすさなどについて改善していきたい。また、市役所として、摂津市のホームページ全体をより見やすくなるようにリニューアルすることを検討している。時期については未定だが、図書館のページにもアクセスしやすく、また、見やすくなるように改善したい。

○「鳥飼図書センターの道路際に市の広報板が設置されているのですが、前を通った折、何かとても乱雑な感じを受けました。この広報板の管理が図書センターなのか、近辺の自治会なのかは不明ですが、もう少し少ないピンをはずし、見栄えよくした方が良いのではと感じました。」という内容について

⇒広報課に確認したところ、鳥飼図書センター前の掲示板の管理については、シルバー人材センターに管理を依頼しているとのこと。毎月月末に期限切れの掲示物の撤去、不要画鋏の撤収をお願いしている。今回のことを広報課からシルバー人材センターへ連絡していただいております、注意喚起を促している。

○「母の日、父の日のイベント工作は、どちらももらう側は大変喜ばれたと思う。安威川公民館で開かれない理由を知りたい。」という内容について

⇒安威川公民館ではなく、市民図書館で開かれない理由を知りたいとのこと。

⇒鳥飼図書センターでは工作関連イベント、市民図書館では読みメン等の父親向けの読み聞かせイベント、という形で両館に特色を持たせた形で、あえて異なるイベント実施を企画した。今後はニーズを聞き検討していきたい。

○「読みメンの読み聞かせはいいアイデアだと思う。」という内容について

⇒男性の育児参加という取り組みの1つとして、摂津市でも昨年度から実施しており、今年は読みメンのためのブックリストも作成し配布している。男性が読み聞かせをすることでより楽しくなる絵本などもあるので、今後も様々なバリエーションのイベントを企画し、摂津市の図書館の特徴の1つとして取り組んでいきたい。

(委員)

男性だからこそ使う表現等もあり、母親だけではなく父親だからこそその声や表現を聞かせてあげることで、子どもが様々な方向から読み

聞かせを楽しみ、世界を広げることができる。普段家にいることが少なく、子どもとのコミュニケーション機会が少ない父親が、下手でも読んであげる機会をもつことが大切である。

(事務局)

平成 29 年度第 2 四半期のご質問

○「図書館内の椅子が減り、奥の本棚にも行きやすくなったように思います。」という内容について

⇒以前から、椅子を増やしてほしいという意見と通路の確保をしてほしいという意見があったが、今回、館内全体の席数は減らさずに、通路幅の確保をし、車いすの方や、ベビーカーを押しながら歩けるスペースの確保と避難経路の確保のため見直しを行った。今後も意見を伺いながら配置転換を行っていきたいと思う。

○「広域利用が出来る様になり、近隣の図書館へ出かける余暇の楽しみが増えました。当たり前ですが、それぞれの館に特徴があります。そんな時、摂津の図書館が他館とは違うアピールポイントは何処にあるのだらうと思いました。他館にはない強みがあると良いですね。」という内容について

⇒近隣他市に比べるとコンパクトな市であり、図書館数も 2 館と少ないが、ビブリオバトルや読みイベントなど、摂津市ならではの特色をもった企画を今後も取り組んでいきたい。

○「吹田の中央図書館でみつけた冊子を同封します。YA のコーナーが入口付近にあり、冊子に記載されている本がコーナー展示されていました。YA 世代の来館増進に関わるのかもと思いました。」という内容について

⇒摂津市でも鳥飼図書センターが中心となって YA 世代向けのおすすめブックリストの作成や、企画展示、イベントの実施等を行っている。今年度ブックリスト内容の更新を行っているので、完成次第提供を開始する予定であり、この世代に向けた講座の充実を図っていききたい。

○「貸出レシートに広告募集が印字されていました。図書館運営にどのような効果があるのでしょうか。」という内容について

⇒吹田市の取り組みであると思われる。広告主としてのスポンサーから広告料をもらい図書館運営に活かす、というものである。しかし、広告主を探すことの困難さや、広告を掲示することによりレシートの長さが長くなり、その分消耗が早くなるなどのデメリットもある。

多くの自治体で図書購入費としての予算が削減される傾向にあり、その分の補填を広告収入によって行い図書購入費に充てるという方法をとる自治体もある。摂津市としては図書行政を重要視しており、図書購入費はむしろ増額している。今後も維持していきたい。

○「多機能型トイレの入り口の戸が開くたびに大きな音が出る。そのため、読書をしている方からにらまれる。トイレットペーパーが残り少なくなっている。どういう時間配分で補充されているのか。」という内容について

⇒扉の開閉音については定期的に修繕も行っているが、消音までに至っていない。閲覧席に隣接しているため、何らかの対策を考える。トイレットペーパーの補充については、清掃担当が1日に3回補充を行っている。予備のトイレットペーパーを多めに補充することによって、持ち帰り等もあり、多く置きすぎないようにしている点をご理解いただきたい。

○「市民からの要望に対する回答は、もっと大きな字で書いてほしい。」という内容について

⇒字体の工夫等の改善をされていてはいるのだが、今後も、掲示板の設置場所や照明等の配慮をして改善していきたい。

○「11月は読書週間ということもあり、本との出会いや、図書館の活動や行事がわかりやすく広報で紹介されていたのが、とても良かったです。」という内容について

⇒11月1日号の『広報せつつ』を配布

⇒図書購入費の増額にも関係するが、摂津市の図書行政に対して力を入れて取り組んでおり、今回も広報課が年間スケジュールの1つとして読書週間を大きく取り上げてくれたものである。

写真も多く使用されており、イベント内容や取り組みについてのイメージが伝わりやすくなっている。

(委員) 写真がたくさん使用されているのがよい。写真に写っている親子の笑顔もよい。

(委員) 読書推進サポーターというのは全校に配置されているのか

(事務局) 最近では制度的に配置が定められているが、摂津市ではそれ以前に配置している。学校にはサポーター以外にも司書教諭もいるが、教員ということもあり負担が大きいということで、読書サポーターを配置し

各学校にて読書活動をしている。

(委員) 千里丘公民館の図書フロアについて、低い机や書架の下の方に児童書が置かれているなど、子ども向けの設定がよい。昨年のリニューアルに伴い新しい本が入り、非常によいと思う。

(事務局) ○「多忙な業務にあって、他課（人権女性政策課）からの複数の要請に応え、また実習生や職場体験の受入など、外部との関係に配慮され、さらに市民からの要望に対して即刻備品を購入して対処されていることを嬉しく感じました。」という内容について
⇒今年は大学の図書館実習生の受入もあり、学校との関わりをもつ機会となっている。

(委員) 他市ではあるが、中学生の職業体験実習生の様子を目にすることがあった。必死に仕事に取り組む姿をみていると気持ちがいい。

(事務局) 摂津市も図書館に職業体験に来られる学生さんは非常にまじめに取り組んでくださる。不登校気味などの配慮の必要な学生さんも、体験時には人一倍熱心にしていて。普段見ること、体験することのできない職場での体験を新鮮に感じていただけているので、こちらもいい機会提供ができていることを嬉しく思う。

○「学校図書館との効果的な連携を探っていけたらと思います。（子どもの読書活動の推進に関して）」という内容について

(委員) 今年の大阪府読書感想文コンテストにおいて、中学生の部で摂津市の学生が2人入賞した。日頃の読書に対する取り組みがベースとなっているのかもしれないと思った。今後も、学校図書館では足りないものを市民図書館に借りに行くという、学校から市民図書館へという流れを作ったり、また、YA世代向けのブックリストを配り、図書館の本の宣伝をするなどといった、学校と図書館との連携を深めていければと思う。

(事務局) 今後とも学校や学校図書館との連携に取り組んでいきたいと思う。

(委員) 11月25日（土）のビブリオバトルに観覧者として参加し、楽しかったのだが、去年よりも発表者が少なかったのと、発表した5名とも非常に発表に慣れていて、今後一般人として参加しにくくなってしま

った。また、かなり遠方か、他市の参加者が多かったが、どのような募集を行い、どのような基準で発表者は選考しているのか。

(事務局) 募集に関しては、館内掲示と市のホームページ、ビブリオバトルの全国版のホームページ等にも掲載されている。どの発表者もとても話慣れていたが、1番目の発表者の方以外は、ビブリオバトルにバトラーとして参加するのは初めてであった。

まだ認知度も低く、開催ぎりぎりの人数しか応募がなかったもので、回数を重ねることで認知を高めて摂津市民の方にも多く出場していただき、また、委員の皆様にもぜひバトラーとして出場を願いたい。

(委員) 先日読み聞かせをするために、本を探しに図書館へ行った際に、職員の方に熱心に探していただき、読み聞かせも好評を得た。職員の方がスキルアップしているように感じる。スタッフによろしく伝えてほしい。

(事務局) 職員のスキルアップのため研修などにも力を入れている。今後とも研鑽をしていきたい。

2. 平成 29 年度摂津市民図書館・摂津市鳥飼図書センター利用者満足度調査結果報告

(事務局) 平成 29 年度摂津市民図書館・摂津市鳥飼図書センター利用者満足度調査の集計結果について説明。

(委員・事務局) 広域利用についての意見交換

(事務局) 北大阪健康医療都市（健都）に建設予定の図書館について、市民の利用に関する情報が入り次第お伝えしたい。

3. その他

(事務局) 要点録の送付、第 3 四半期評価のお願い、第 4 回協議会日程調整のお願い、について説明。